

表1 授業についての自己チェックリスト

学校名 _____ 氏名 _____ 記入日 年 月 日

授業についての自己チェックリスト				実施	評価	必要度
I 授業の土台づくり						
①	子どもを教師に注目させるための工夫をしている					
②	子どもが話を聞くとときや発表するときのルールがある					
③	姿勢保持に関する注意と配慮がなされている					
④	子どもの興味をひきつける発問を工夫している					
⑤	板書の仕方を工夫している					
⑥	子どもが質問したいときに質問しやすい人間関係ができています					
⑦	子どもに対する肯定的な承認を行っている					
II カリキュラム						
①	単元の中での授業の位置づけが明確である					
②	授業のなかで、他の教科の学習内容を取り入れている					
③	授業や単元が、学校の外の家庭や地域での生活に結びつくことを意識している					
III 目標の設定						
①	授業や単元で目指している一般的な到達目標がはっきりしている					
②	子どもの多様な学習ニーズに応じて様々な段階の目標設定をしている					
IV 学習内容やスキルの提示						
①	教える内容を様々な方法で提示している					
②	子どもが活動的に学習に取り組むための操作学習などを行っている					
③	中心となる概念の理解やスキルについて反復練習の機会を用意している					
④	子どもの状況にあった学習の方略（解き方・記憶の仕方等）を提示している					
V 教材						
①	ワークシートなど個別の学習を用意している					
②	子どもが最大限に学べるようにするために支援機器を使っている					
③	学習内容を理解するための教材や教具を工夫している					
④	子どもの状況にあった補助的教材や教具を工夫している					
VI 子どもの積極的参加						
①	子どもたちが考えるための時間を確保している					
②	子どもたちが理由を考えたり、問題解決したりする場面を用意している					
③	子どもたちが活動的に取り組めるペア学習やグループ学習等を活用している					
④	用いる教材や学習の仕方について、子どもたち自身が選択をする場面がある					
VII スタッフの役割と子どものサポート						
①	子どもに関わるスタッフのそれぞれの役割と責任の分担ができています					
②	スタッフの連携で能力に幅のある子どもたちに適切な支援を用意している					
VIII 評価						
①	内容の理解や学習の定着を確認する場面を授業の中で複数回用意している					
②	子どもが学んだ内容を様々な方法で表現する場面がある					
③	継続的な評価を行って次の授業に生かしている					
④	それぞれの子どもに対する学習到達度が明確になっている					

「実施」の欄・・・現在、先生が授業の中で実施している項目を選んで○をつけてください。

「評価」の欄・・・「実施」で○をつけた項目について、「うまくいっている」と思う項目に○、「実施しているがうまくいっていない」と思う項目に△を記入してください。

「必要度」の欄・・・現在のクラスの状況と先生ご自身の授業を振り返って全ての項目にチェックをしてください。必要度が高いと思う項目に◎、必要度が中位と思う項目に○、必要度が低いと思う項目に△を記入してください。

表2-4 ユニバーサルデザイン(UD)の7つの視点 一覧表 小・中・高 共通

		I 教室環境		日常	単元	本時
学級づくり	●授業前や授業中に配慮する項目	■学級担任				
		①	整理の仕方や置き場所(個人ごと・学級ごと・教科ごと、表示など)を決め、教室の整理整頓の仕方を指導している。			
		②	児童生徒の実態に合わせた座席の位置を決めて指導している。			
		③	学習時の視覚刺激の量に配慮している。(前面の黒板とその周囲、壁面の掲示物の精選など)			
		④	一週間や一日の予定などのスケジュールを見やすく掲示して指導している。			
		⑤	急な連絡や予定の変更(事前や当日)は、口頭だけでなく、視覚的にもわかるように配慮して伝えている。			
		■学級担任 ■教科担任 共通				
		⑥	児童生徒の実態に合わせた座席の位置を決めて指導している。			
		⑦	学習時の視覚刺激の量に配慮している。(前面の黒板とその周囲、壁面の掲示物の精選など)			
		II 学習や生活のきまり		日常	単元	本時
授業づくり	●授業の準備や授業中に配慮する項目	■学級担任				
		①	学習活動のきまりをわかりやすく定め、指導している。「聞くこと」「話すこと」「書くこと」など			
		②	学級生活のきまりをわかりやすく定め、指導している。(時間のきまり、清掃や昼食時のきまりなど)			
		③	身の回りの整理整頓について、わかりやすく指導している。			
		④	①②③について、児童生徒の実態を振り返り、必要に応じて見直しを図りながら指導している。			
		■学級担任 ■教科担任 共通				
		⑤	担当教科の学習活動のきまりは、学級・学年・学校のきまりを踏まえ、わかりやすく指導している。			
		III 関係づくり		日常	単元	本時
		■学級担任				
		①	児童生徒の理解、児童生徒同士の関係の把握に心がけ、観察・記録を大切に指導している。(NRT、Q-Uなど)			
②	児童生徒同士が学級のことや友だちのことについて話し合える場を作ったり、話し合える工夫をしたりしている。					
③	時・場・相手などに応じたコミュニケーションの仕方やマナーについて指導している。(あいさつ、返事、お礼など)					
④	児童生徒のトラブルや問題について、本人又は保護者との相談を通し、その望ましい在り方を指導している。					
■学級担任 ■教科担任 共通						
⑤	教科のねらいを達成するために、学級ごとの特性を把握して指導している。					
IV 授業の構成		日常	単元	本時		
授業づくり	●授業の準備や授業中に配慮する項目	■学級担任 ■教科担任 共通				
		①	単元や本時などで、学習の流れを提示し、児童生徒が見通しを持ち学習に取り組めるようにしている。			
		②	教科書、ノートやファイル、学習用具の準備について指導している。			
		③	導入の段階で、本時の課題につなげる工夫をしている。(前時の復習、動機づけなど)			
		④	わかりやすく主体的に取り組めるような課題設定を行い、自力解決のための思考の手がかりを持たせている。			
		⑤	展開の段階で、中核となる学習活動とそれに付随する学習活動のバランスや軽重を意識して進めている。			
		⑥	ペア学習、グループ学習など、ねらいに応じてさまざまな学習の形態を工夫している。			
		⑦	集中力を高めたり気分を切り替えたりする活動を取り入れるなどして構成を工夫している。			
		⑧	終末の段階で、「わかった、できた」という満足感・達成感を実感できるまとめの活動を工夫している。			
		V 教師の話し方、発問や指示		日常	単元	本時
授業づくり	●授業の準備や授業中に配慮する項目	■学級担任 ■教科担任 共通				
		①	児童生徒のがんばりを認め、肯定的な表現で話しかけている。			
		②	全体への発問・指示と個別の声かけ・確認などの支援の仕方を工夫している。			
		③	話し始める前に、児童生徒の興味を引く工夫をしている。(立つ位置、タイミング、前置きなど)			
		④	児童生徒に伝わる発問や指示になるように工夫している。(簡潔な表現、具体的な言葉など)			
		⑤	複数の発問や指示の仕方を準備し、五感に働きかけるように工夫している。			
		VI 板書、ノートやファイル		日常	単元	本時
		■学級担任 ■教科担任 共通				
		①	教室の後ろの児童生徒からも見えるような文字の大きさ、行間にしている。			
		②	大事どころがわかるように工夫して示している。(チョークの色、ラインや囲み、矢印や記号の活用など)			
③	児童生徒が理解し、書き取りやすいような板書の仕方を工夫している。(スピード、タイミング、間など)					
④	授業の流れや内容がわかるように板書計画を工夫している。					
⑤	ノートの取り方やファイルの活用の仕方を指導している。					
VII 教材・教具		日常	単元	本時		
■学級担任 ■教科担任 共通						
①	わかりやすい教材・教具を使っている。(具体物、写真、絵、ICT、視聴覚機器など)					
②	児童生徒の実態に合わせて、材料、道具、用具を準備して活用している。					
③	ワークシートや課題プリントは、読みやすく書きやすいように工夫している。					
④	児童生徒の実態に合わせて、対応できるような教材を準備している。(基礎や応用、発展など)					

平成24年度版(第2年次)

小学校名 _____ 小学校	記入者 _____	かなり やっている	やや やっている	たまたま やっている	ほとんど やっていない
今年度担当学年 小 _____ 年					
学級環境					
I. 場の構造化					
1	教室内の物については、一つ一つ置く位置が決まっていますか				
2	教材の場所や置き方などが一目で分かるように整理されていますか				
3	座席の位置は個々の特徴に合わせたものになっていますか				
II. 刺激量の調整					
4	教室内の掲示物によって気がそれたりしないように配慮がされていますか				
5	教室の前面の壁の掲示物は必要最小限なものに絞られていますか				
6	教室の棚等には目隠しをするなど、余計な刺激にならないような配慮がなされていますか				
7	教室内、教室外から刺激となるような騒音(例 水槽、机、廊下等)が入らないように配慮がされていますか				
8	ちょっかいを出す、話かけるなどの刺激し合う子をお互いに離れるような座席位置にしていますか				
III. ルールの明確化					
9	クラス内のルールはシンプルで誰もが実行できるものに設定されていますか				
10	クラス内での役割(例 当番、係)について行動の手順・仕方などが分からなくなった時、実際に参照できる工夫(例 手順表・マニュアル)がされていますか				
11	担任からクラス内のルールについての確認、評価を適切なタイミングで行っていますか				
IV. クラス内の相互理解の工夫					
12	一人一人の目標について明確にし、本人に伝え、それについて一貫した指導を行っていますか				
13	助け合ったり、協力したりする場面を意図的に設定していますか				
14	クラスの状況や方向性について、保護者会などで理解が得られるような説明をしていますか				
授業における指導方法					
I. 時間の構造化					
15	授業の初めに内容の進め方について全体的な見通しを提示していますか				
16	授業の流れの中で、今、何が行われているかが分かる工夫をしていますか				
17	時間割の変更などについてはできるだけ早く伝える工夫がされていますか				
18	(タイマーなどを活用して)作業など時間の区切りが分かるように工夫していますか				
II. 情報伝達の工夫					
19	指示・伝達事項は聴覚的(言語)にだけでなく、視覚的(板書)に提示するようにしていますか				
20	抽象的な表現、あいまいな表現をできるだけ避け、具体的な表現に置き換える工夫をしていますか				
21	大事なことはメモさせる、メモを渡すなど、記憶に負担がかからない方法を工夫していますか				
III. 参加の促進					
22	分からないことがあった児童が、担任からの助言を受けやすくする工夫をしていますか				
23	どの児童も発表できる機会をもてるよう工夫がされていますか				
24	1つの課題が終わったら、次にするべきことが常に用意されていますか				
25	集中の持続が可能ないように、課題の内容や取り組み方に少しずつ変化をもたせていますか				
IV. 内容の構造化					
26	(ワークシートなどを活用して)学習の進め方、段取りが分かりやすくなるような工夫がされていますか				
27	課題についてできる限り学習内容の細分化(スモールステップ化)を行っていますか				
28	授業がスムーズになるように毎回の進め方にある程度パターンを導入していますか				
個別的配慮(気になる児童に対して)					
I. つまづき全般					
29	個別指導計画に基づいた指導が充分に行えましたか(個別指導計画が作成されている児童に対して)				
II. 学習のつまづき					
30	教科内容について習得されている学年レベル、ミスの仕方について把握する工夫がされていますか				
31	つまづきが始まる所に戻って学習できる機会を用意していますか(例 下学年対応)				
32	学級以外の指導の場(例 通級)を利用している場合、情報・教材の共有がされていますか				
III. 社会性のつまづき					
33	その子なりに参加できる集団作り(例 学級、班、小グループ)をしていますか				
34	集団に参加するための本人に応じたスキル(例 言葉のかけ方、挨拶の仕方)を個別に教える機会を作っていますか				
35	小集団指導の参加機会について検討していますか(例 通級)				
IV. 注意のつまづき					
36	集中が途切れた時やじっとしてられない時に、どうするかなどの具体的な行動の仕方を本人と約束していますか				
37	授業内容は聞かばかりでなく、具体的な活動を取り入れていますか				
V. 言葉のつまづき					
38	時々、質問などをして指示内容が理解できているか確認していますか				
39	指示理解の弱い子に対して、個別に説明を加えるようにしていますか				
40	言葉だけの説明で理解できない子には、絵や図などを使って補っていますか				
41	説明することの苦手な子に対して、時々時間をかけてゆっくり聞いてあげることを行っていますか				
VI. 運動のつまづき					
42	手先の不器用さ、運動の苦手さから学習参加の拒否などが起こらないように気をつけていますか				
VII. 情緒のつまづき					
43	1日の中でほめられる場面作りをしていますか				
44	得意なことが発揮できる活動を時々入れていますか				
45	本人の成長している点について、時々本人に伝える機会を作っていますか				
46	学校生活の中で苦にしていることなどについての訴えを聞く機会を作っていますか				
47	学校が好きになれることを一緒に探したり、提示したりしていますか				

